

# ■ 「北方海域技術研究会 平成 27 年度 技術研究発表会」を開催しました

2015年12月4日に当研究所講堂において、「北方海域技術研究会 平成 27 年度 技術研究発表会」（主催：日本技術士会北海道本部北方海域技術研究委員会、寒地土木研究所）を開催しました。本研究発表会は、港湾・水産関係技術者の技術力向上をめざして、毎年開催しており、技術者同士の交流の場としても貴重な機会となっています。日本技術士会北海道本部と当研究所は2011年11月に「連携・協力協定」を締結しており、連携行事の一環でもあります。

当研究所寒冷沿岸域チームの本間研究員は「オホーツク海における海岸道路の盛土被害の発生条件と対策の検討」と題し、模型実験によって波の遡上特性を把握するとともに対策工について講演を行いました。また、水産土木チームの佐藤主任研究員は「寒冷海域における沿岸施設の保護育成機能の解明に関する研究」と題して、港湾漁港における生物の保護育成機能の重要性を示すとともに、魚類の行動を把握することなど機能を強化するための方法について講演しました。

他機関からは、株式会社不動テトラの三井順氏が「防波堤を越流する津波に対するブロックの安定性と滑動抵抗力の検討」と題して、粘り強い防波堤に対する被服・消波ブロックの特徴を述べるとともに、所要質量算定方法などについて講演されました。

また、北海道環境生活部環境局地球温暖化対策室の

寒地土木研究所 寒冷沿岸域チーム、水産土木チーム

島田裕進氏は「北海道の水素社会の形成に向けて」と題して、道内の再生可能エネルギーの現状、今後の水素社会形成の重要性を述べ、水素の利活用として北海道の取組みなどについて講演されました。

各講演とも興味深い内容であり、会場では活発な質疑が交わされ、この発表会への関心の高さが感じられました。今回の研究発表会には北海道開発局、寒地土木研究所、民間企業等より約60名の参加がありました。主催者の一員として、ここに記して謝意を表する次第です。



三井順氏の講演



会場の様子



島田裕進氏の講演